



手を貸そう

国際ロータリー第2510地区
ROTARY INTERNATIONAL DISTRICT 2510

ガバナー月信

2003-2004 GOVERNOR'S

2004

3

MONTHLY LETTER No.9

2004. 3. 1

2003-2004年度ガバナー

GOVERNOR
佐藤秀雄
SATO HIDEO

〒066-0041 千歳市清水町4丁目8番地1 シェルヴィルビル2F
電話 0123-42-2000 FAX 0123-42-2009
E-mail: d2510g@poppy.ocn.ne.jp

Cielville Bldg.2F, Simizu-cho 4-8-1, Chitose, Hokkaido,
066-0041 Japan
Tel.81-123-42-2000 Fax. 81-123-42-2009
E-mail: d2510g@poppy.ocn.ne.jp

C O N T E N T S

ガバナーメッセージ	1
第1次事前登録締切り終わる	3
家庭奉仕委員会報告	4
ロータリーの百年史	5
ガバナー・女性会員座談会開催	6
世界理解月間に寄せて/家庭奉仕を考える	10
地区青少年交換委員会報告	11
佐藤ガバナー スリランカへ飛ぶ	15
第24回札幌スキーマラソン参加	17
クラブ報告 (江別西RC)/新入会員のご紹介	18
マルチプル・ポール・ハリス・フェロー/米山功労者のご紹介	19
ハイライトよねやま48	20
文庫通信	21
『友』インターネット速報/掲示板	22
1月会員数・出席率	23
地区カレンダー	24

ガバナーメッセージ



地区目標を推進しよう！

ガバナー 佐藤 秀雄

3月と5月は、RIは特に何々月間の指定はしていない。今月は3月13日を含む1週間を世界ローターアクト週間として推進するよう要請している。ローターアクトについては月信9月号青少年を支援しよう！で報告しているので省略する。そこで今月は地区の現況を報告する事とした。私は年度始めに地区の目標として地区と各クラブ等のネットワークの充実と財団特にポリオの寄付をお願いしてきた。IT関係ネットワーク化では90%の達成率であるから、ほぼ達成したものと思っている。一方財団の目標は年次寄付を25万ドル、ポリオ・プラスを17万ドルとした。R財団寄付一覧報告2003年12月31日現在によると当地区は年次寄付約10万7千ドル、ポリオ・プラス1万2千ドルという報告が来ている。いずれも目標を達成していない。特にポリオが厳しい状況にある。日本経済は長引く不況により低迷している。特に北海道経済は厳しく長いトンネルの出口の薄明かりさえも見えてこない。そんな中であって財団の寄付を推進しようというのは、心苦しく思っているが国際ロータリーは来年の2005年度までにポリオを世界から追放しようとして懸命に努力している。ポリオは世界の6カ国に絞られてきた。当地区3千3百余名の会員の協力によって、これらの国の子供たちをポリオ禍から救える。2月8日(日)宮武第9グループガバナー補佐招集によるグループ会員家族交流会が盛大に室蘭市で開催、各クラブ提供による景品のオークションが行な

われ25万円余の売上があった。その全部をポリオに寄付してくれるとのこと大変うれしく感激して帰ってきた。又、年次寄付については識字率の向上、保健、飢餓の追放及び人間性尊重、後進国への人道的支援そして教育的なものとしては国際親善奨学生、世界平和奨学生、研究グループ交換(GSE)等世界平和の推進のために使われているし、今年度から地区財団活動資金(DDF)の20%を上限とする地区補助金が地域社会に密着した事業に使用される事を条件に地区の裁量で使用できる事となった。現在まで9クラブがこの資金を使用し素晴らしい事業を展開している。これも全て年次寄付の額によって補助金の限度額が決定されるため寄付が多ければ多いほどそれに比例して補助金も多く還元される仕組みになっている。従って会長、幹事、財団委員長は財団の寄付の拠出のみを強調するのではなく、会員から集められた寄付がどのように人道的或いは教育的プログラムに使われているのか、それによって後進国の人々が恩恵を受けどんなに感謝しているかを訴えて頂きたい。日本から多くの学生が国際親善奨学生として外国に留学している。これも財団の活動資金によって賄われている。このように会員が拠出した資金がどの位財団に集まり、それがどのように貧しい国々に配分され使用されているかを説明する事によって納得し協力してくれるものと思う。そこで今月は未だ達成されていない地区目標を強力に推進しようではありませんか！

ガバナー日記(7)

11月1日(土) 岩見沢RAC創立35周年記念式典がホテルサンプラザで開催され、多くのアクターの皆さん並びに岩見沢RC会員が参加して厳粛に執り行われた。岩見沢RC会長倉増氏の挨拶によると、当RACは35年前当時の会長がRACの設立申請を国際ロータリー日本事務局に申請したが、同じころ関東からも申請が上がり書類が前後したため2番手となった。非常に残念である旨の挨拶があった。全国でも1、2を争う古いクラブで活発に活動していた。後輩を指導し継続してRACを拡大して欲しいものだ。

11月8日(土)、9日(日) 第2620地区の地区大会に妻とともに参加した。多くの会員が参加され、2日目の記念講演は東京RCの会員でもありミズノ株式会社の社長でもある水野正人氏が「スポーツが地球を救う—21世紀のスポーツの役割—」について話された。ユーモアを交え飽きさせない話術はたいしたものだ。佐藤進ガバナーが公式訪問途中でつまずいて足のくるぶしを痛め車椅子で指揮をとり熱情溢れるロータリーの心情を訴えたのは感心した。心から早い回復をお祈りする。

11月14日(金) 十勝沖地震見舞金を各クラブにお願いしていたところ金2,075,260円が集まったので地区社会奉仕委員会の対木委員長とともに日本赤十字社北海道支部にお届けした。

11月15日(土) 米山記念奨学会委員会がセンチュリーロイヤルホテルで開催、伊藤PGから米山の現況報告があり、次いで竹原委員長から米山の寄付集めをどのようにすべきかを話し合われた。

11月18日(火) 千歳セントラルRC創立13周年が開催され、当時の親クラブ会長兼ガバナーとして参加した。

11月20日(木) ロータリーの友委員会佐藤公委員長が「友」誌に掲載する地区座談会に戸部アナマリア氏、沼館葉氏の4人で

女性会員の入会奨励について大いに語り合った。

11月23日(日) 北海道アクト交流会が札幌コンベンションセンターで開催、「であicoro-アクトは異なるもの味なもの」のテーマのもと全道からアクト会員が集合したが全道の割には参加会員数が少なく寂しい気がした。

11月26日(水) 東京においてガバナー座談会が開催され前川PGが司会役となり青少年の教育問題が話の中心になった。当地区では子ども奉仕委員会が中心になって米山委員長が真剣に取り組んでいる事を報告した。

11月27日(木)～30日(日)はロータリー研究会が新高輪プリンスホテルで開催され、当地区からは全部のPG、GE、GNが参加した。

12月6日(土) ガバナー補佐会議を千歳全日空ホテルで開催、前期の報告と後期の取り組みについて話し合った。

12月10日(水) 新世代委員会、伊藤カウンセラーも参加され各小委員会委員長から前期の経過報告並びに後期の予定について話し合われた。奥貫委員長は3年経過のため次期は委員長交代の予定。

12月14日(日) 青少年交換委員会、委員会の報告とともに委員が3名ほど辞任したため補充するかどうかについて話し合いを持ったが、現状体制で続行することとなった。

12月17日(水) 静内RC夜間例会に招待されたため高慶代表幹事補佐と訪問、そこには岩城PGも参加され和気藹々の楽しい例会であった。赤いジャケットの制服を着たロータリーメンバーの合唱団があり素晴らしい歌声を聞かせていただいた。細川ガバナー補佐有難う御座いました。これには書かなかったけれど地区幹事会、月信の編集校正、クラブからの問い合わせ、RIの対応と嬉しい限りの半年間でした。

「第1次事前登録締切り終わる」

RI2004年国際大会(関西)事務局

2003年12月15日をもちまして、第1次事前登録を締切らせて頂きました。

皆さまのお陰で、当初の目標である国内登録者3万人という数字を達成できました。本当にありがとうございます。登録者数の簡単な内訳をご報告いたします。

ロータリアン	27,284名
配偶者	4,445名
配偶者(ロータリアン)	93名
その他	323名
総計	32,145名

このデータは、全国ガバナー事務所、各クラブ登録者数の集計をお願いし、国際大会(関西)事務局でまとめたものです。

また、「第2次事前登録」の締切りが3月15日と近づいています。第1次締切りに間に合わなかった方は、是非、登録をお願いいたします。

* 3月15日までの登録料は、以下の通りです。

・ロータリアンと配偶者 (2名分)	・ロータリアン ・19歳以上のゲスト	・ローターアクト ・財団学友 ・奨学生	・18歳以下のゲスト ・YE(青少年交換学生) ・インターアクト
US\$450.-	US\$325.-	US\$80.-	US\$30.-

* 「第2次事前登録」が終わりますと、当日登録のみとなります。

お知らせ

実行委員会の翻訳・通訳部会では、RI2004年国際大会(関西)のお手伝いをして下さる“ホスピタリティ”あふれた語学ボランティアを募集しています。

応募時に満18歳以上(高校生不可)で、期間中3日以上参加できる方。そして、参加者と外国語でコミュニケーションが取れる方を募っています。(応募期間は3月26日まで)

活動内容は、運営のための語学サポート業務となっています。

その他、詳細につきましてはRI2004年国際大会(関西)HPの「ご案内」をご覧ください。

<http://www.2004kansai.jp/annai.htm>

ご家族・知人・友人のご紹介をお待ちしています。



第2回家庭奉仕委員会報告

地区家庭奉仕委員会

委員長 和田 壬 三 (札幌南RC)

当委員会は、昨年をはじめ当地区に出来た委員会であり、地区内各ロータリークラブには、十分活動内容が浸透していません。昨年は、もっぱら、地区が先導して勉強会や、フォーラム、ワークショップなどを開催し、更にビデオにその成果をまとめるなどして啓蒙に努めたのですが、本年は各クラブの活動としても自主的に取り組んで下さる様をお願いすることを中心に活動に取り組んでいます。

しかし、現状では取り組みが十分とは言えず、当委員会の存在意義すら問われる状態です。

そこで本日の委員会において、委員全員出席の下、各クラブに、家庭奉仕活動が、全ての奉仕活動の基本であり、全ロータリアンにとって、緊急の課題であることをご理解戴いた上で、如何に取り組んで頂くかにつき、討論いたしました。

出席委員は、大場公孝（上磯RC）、長谷川美栄子（札幌大通公園RC）、水野正純（新札幌RC）、松本純枝（深川RC）、高下泰三（札幌西RC）、和田壬三（札幌南RC）

記

1. 各クラブに、以下のような家庭奉仕活動の具体的なメニューを提案することにしました。

- ①例会で、予め、各人のしている家庭奉仕について発表してもらうことを告知して、当日出席者全員に、発表していただく。
- ②テーブルごとに同じことをして、最後に各テーブルのリーダーが、全員の前でその内容について発表する。
- ③会長若しくは、社会奉仕委員長が、例会毎に、

例えば“1週間の間に行った家庭奉仕について”、といったタイトルで1分間スピーチをする。

④上記に代えて、全会員に、交代で、同様の内容で、1分間スピーチをしてもらう。

⑤上記に代えて、当初は、全会員に、同様の内容で1分間スピーチ用原稿を書いてもらい、会長が例会で読み上げる。

⑥家族を交えたプログラムをたくさん用意する。

⑦社会奉仕事業は必ず家族にも参加を呼びかける。

⑧物故会員又は、退会会員については、親しい会員を見つけて、その会員を通じて親睦活動に参加するよう働きかけると共にその会員と同席できるように工夫する。

2. 上記に加えて、札幌市の北九条小学校が行った“家庭って何だ”というシンポジウムの小冊子及び小林バスターガバナーが作成した“ロータリーは家庭から”の小冊子又は、ステッカーの余部についてご提供いただき、各クラブの会長、幹事、社会奉仕委員長宛に、無償配布し、このような企画も出来ることを訴える。

3. 上記の内容のプログラム又は、事業について別紙のようなアンケートを同時に実施する。

4. 児童虐待について30年以上にわたり、活動していただいている北星大学教授の相場幸子先生を講師として“カウンセリング活動を通じて、家庭の問題について考える”というテーマで、勉強会を3月下旬から4月の間に、広く地区内の各クラブに参加を呼びかけて実施する。

家庭奉仕勉強会のご案内

家庭奉仕の方法について学んでみませんか。家庭奉仕は、自然にできるものではないことが、当委員会の活動を通じて次第に分かってまいりました。

30年以上にわたって、児童虐待防止活動に取り組んできて、家庭の教育が、大切であることを知り、自ら、カウンセリング活動に取り組んで、家庭のあり方について指導している方がいます。

北星大学の社会福祉学部の教授で、家庭裁判所の調査官の経験もある相場幸子先生から、家庭奉仕の仕方について学んでみませんか。社会奉仕委員長さんには、活動の参考にもなるとお思いますのでぜひご参加下さい。

記

1. 日 時：3月20日（土・祝） 17時00分
2. 場 所：札幌毎日会館4階会議室（札幌市中央区北4条西6丁目毎日札幌会館4階）
3. 講 師：相場幸子北星大学教授
4. 演 題：“虐待児童を救う活動を通じて学んだ家庭奉仕”
5. 参加の有無は事前に下記連絡先に電話、faxにて住所、氏名をご連絡下さい。会場が最大50名しか入りませんので、会場を変更するかもしれません。
6. 連絡先：和田法律事務所
(TEL011-281-0909、FAX011-271-4336)



ロータリーの百年史

「奉仕の一世紀 国際ロータリー物語」のご案内

皆さまに、ロータリーの百年史、「奉仕の一世紀 国際ロータリー物語」の日本語版発売のご案内をさせていただきますと存じます。

2004年国際協議会で英語版が発刊となりますが、5月の大阪国際大会で、日本語版の発売を開始いたします。大会会場の出版物販売ブースならびに100周年ブースでお求めいただけますが、かなりの需要が見込まれますので、混雑を避けるため、事前にご注文いただくことをお勧めいたします。価格は1冊25ドルで、革装の限定版（1冊100ドル）もご用意しております。なお、2004年3月31日までのご予約分には、無料でCD版を添付いたします。

すばらしい思い出の数々、未発表の写真、知られざる事業が満載されたこの「奉仕の一世紀」には、日本のロータリアンとクラブの数多い実績のいくつかも含まれており、日本の全会員の皆さまに、興味

深くお読みいただけることを確信いたしております。

本のご予約は、注文用紙（ガバナー事務所から各クラブに送付）にご記入の上、RI日本事務局までファックス（03）3903—3781または郵便にて（住所は用紙に記載）ご送付ください。

RI事務総長

エド・フタ（布田）

混乱を避けるために、注文用紙をファックスまたは郵送いずれか1つの方法でご送付ください。注文は、前払いでお願い致します。支払が完了するまで、ご注文は処理されませんのでご了承ください。
<http://www.rotary.org/languages/japanese/centennial/book.html>でオンラインによるご予約も受け付けております。

ガバナー・女性会員座談会開催



第2回ロータリーの友委員会は2003年11月20日(木)札幌市内の丸一ビルディングで開催しました。委員会は第2回ロータリーの友委員合同会議(全国)の報告の後、木下博会員(室蘭)をオブザーバー会員として任命しました。その他、各クラブの雑誌委員会の名称を「ロータリーの友委員会」とするべき以前に決議されていますが、まだ徹底されていないようなのでPRを促進することとしました。また、地区内の委員長会議をどうするか、4月の雑誌月間の活動についても討議しました。

なお、本委員会の前に「友誌」の地区のたよりの企画として、ガバナーと女性会員の対談が行われました。その内容は下記の通りです。

出席者：佐藤ガバナー、佐藤公委員長(札幌北RC)、
斎藤元護委員(札幌南RC)、山名善久委員(札幌南RC)、
坂井治委員(千歳セントラルRC)
オブザーバー：戸部アナマリア会員(札幌はまなすRC)、
沼舘栞会員(札幌清田RC)

ガバナー・女性会員座談会

テーマ「女性会員とロータリー」

出席者：佐藤 秀雄(ガバナー)
戸部アナマリア会員(札幌はまなすRC)
沼舘 栞会員(札幌清田RC)
司 会：佐藤 公(札幌北RC)
日 時：2003年11月20日(木)
場 所：丸一ビルディング(LA GALIERIA) 5階

…まず、初めにガバナーから女性会員についての考え方、ご意見を。

ガバナー 女性会員の入会について私は大賛成です。理由は①女性会員が入ることによってクラブの雰囲気や和やかになること②男性会員には考えられ

地区ロータリーの友委員会

委員長 佐 藤 公(札幌北RC)

ない細心のいろんな問題点を提供してくれるからです。この2点が女性会員が入ることによってクラブ強いてはロータリーが大きく変わっていくのではないかと思います。

…当地区内ではまだ半数近くのクラブに女性会員がいませんが。女性会員入会のネックとなることがありますか。

ガバナー この問題は歴史的な背景があります。過去にアメリカのあるクラブで裁判問題になりまして判決でようやく女性会員の入会が認められた経緯がありました。ロータリークラブが創立された1905年当時は会員を通じた職業奉仕が主体でありました。それがだんだん社会奉仕、国際奉仕に移ってきた段階で、公平性とか公共的なことを考えながら運動を展開していかなければならなくなってきた。ですから、職業人社会の中では女性には必要ないという考えで1905年以降続いてきたわけです。まだ当時は社会に進出してきた女性はそんなに多くはなかったと思います。それが、20世紀中、後半になって女性がどんどん確固たる地位を築いてきたと言う中で女性を認めることになってきたわけですが。拒否をしているクラブは歴史的背景の他に、女性が入ることによって男女間の問題に発展していったら困るという会員もいるようです。また、女性の地位を認めない考えの方もいらっしゃるようです。

…そういう考えはある面で残念なことですね。今回の問題提起をきっかけに女性会員のいないクラブの参考になればと思います。女性会員が一人でも多く入会すれば会員増強の点からもメリットがあるわけですから。戸部さん、入会の動機、きっかけについてお話ししていただけますか。

戸部 私の入会は11年前の1992年です。夫がロータリアンでしたのでロータリイのことは自然に理解と興味を持っていました。夫は入会27、8年になりますが、その頃のクラブは奥様や子どもなど家族ぐるみで一緒にいろいろなことをやっていたから。それが最近のロータリイの活動で奥様が参加するのは4分の1くらいではないですか。ただ、私のはまなすクラブは大体80%くらい家族の方が出てきています。私が入会も父もロータリアンでしたから小さい時からロータリイに接してましたので自然体でしたね。女性会員はガバナーが言われたように1970何年に初めて認められたのですが、妻として、家族としての参加は向こう（海外）では盛んでした。これは半分冗談ですが、一節によるとロータリイが生まれたのは女性から逃れたかったからとか。だから、今でも英国やアメリカに女性を入れないクラブが未だにあるではないですか。女性がかかあ天下で強いところは女性を入れるなどという雰囲気ではないですかね（笑）。

…沼館さんはいかがですか。

沼館 私の入会の動機は、山名さん（札幌幌南クラブ・友委員）とある会合で隣同士だったのですが、その時に入会の勧誘を受けました。その時はお恥ずかしいのですが、ロータリイクラブは女性を入れないと思っていましたから、逆にエッ、女性も入れるのですかと質問したほどでした。たまたま前から、女性の奉仕団体からの入会をお断りしてもう断ることが出来ない状態の時でしたので、入会のお勧めを受けてロータリイはどういう事をするかということを考えもせずロータリイに入会してしまいました。だから、もう1週間山名さんにお会いすることが遅かったら今はロータリアンではなかったわけです（笑）。

…次に、入会以前のロータリイの印象、感想についてはどうですか。

戸部 私の場合は入会前と言うよりも何年前と今という感じになります。夫が入っていたときの雰囲気と今とずいぶん違うなと思います。一般的に、あの頃の方がみんな仲良く、ロータリイは楽しい

なという雰囲気でした。

沼館 子どもの頃からロータリイクラブに入れる人というのは地位や名誉もあり、いろんな分野に活躍されている特別な人という印象がありました。

…沼館さんのクラブには今女性会員は何名。

沼館 会員29名中女性は5名です。設立当時は会員が45名いて女性会員も10名いました。一番多いときは11名だったのですけれど。とにかくクラブが始まったときは、とにかく入りなさいと言う事が多かったと思います。ところがいざ入ってみると毎週毎週昼時は大変だということで男女を問わず数が減ってきたと思います。

戸部 うちのクラブは面白いことに設立時会員30名で今も30名です。もちろん、その間出たり入ったりの状態です。女性も5人で今も5人です。数は変わっていないんです。

…ガバナー、今までお二人の発言を聞いて何かご感想を。

ガバナー 会員増強するときにロータリイとは何かというオリエンテーションが十分なされていればある程度退会防止につながったのかなと思います。今は、世界経済、日本経済が不景気になってますから、そういう場面で退会されたのではないかと。ただ、今年度のジョナサン B マジニアベリ会長が家族会員を巻き込んだロータリイ活動をしていただきたいと盛んに言われています。地区やクラブにおいても家族委員会を作っていただきたいという申し入れがあります。当地区においても33位の委員会があるものですからこれ以上は大変だと、それで実は、家庭奉仕委員会の中に家族委員会も設置しているわけです。それで、私の公式訪問でも家族例会をぜひ多く取り入れていただきたいと思います。何回か家族例会を開くことによって奥様同士の友情が芽生えるでしょうあるいは60代、70代の会員がたくさんいらっしゃるわけですからまず、ご自分の長男を奥様の方から勧誘していただきたいと思いますね。これは会員増強の一策ですが。

…次にクラブ例会についてですが、メーキャップなどを通じて女性会員のいるクラブといないクラブについて女性会員からみてどう感じますか。

戸部 私はチャーターメンバーなので入ったとき、これ、日本的な考えかと思いますが、席に女性は女性ばかり集められたのでこれは良くない。各テーブルに女性1名入れてくださいと。必ずしも女性同士にしない方が良いと思います。その代わりに、女性は男性とは絶対に同じ役割ではないというのが私の考えなので、女性には女性の良いところがあります。とりあえず、ビジターとかゲストとか新しい会員には女性の方から声をかけて挨拶すると会話すると雰囲気としてすごく良いと思います。

…戸部さんは特別、国際的なセンスをお持ちで男性、女性の見方が違うようですね。

戸部 ロータリアンですと男女に関係なく職業なので女性だからといって特別な扱いされたくないんです。だからといって男性と同じくされたくない。あくまで人間として自然体でありたいと思います。夫の札幌西クラブはマカティのロータリーとフレンドシップの関係ですが、ロータリアンの女性（会社経営者ばかり）はものすごく活躍されています。日本と違ってクラブから一銭ももらわないんです。独自の会計をしているんです。自分たちで経営している工場があってお金与えないんです働きなさいと言っているんな活躍する女性です。だから、女性を入れないんです。

沼舘 例会については私たちのクラブは設立時から北海道で女性会員が一番多い（10名）という謳い文句だったのですが、違和感なくきた感じです。設立からまだ6年の新しいクラブですのでクラブの例会での親睦会とかダンス同好会とかそういうことをしていく中で男女関係なく親交を深めていますので、他のクラブからメーキャップに来られる方から和やかですねと言っただけです。

…女性同士での問題点は何かありますか。また、女性会員の占めるウエイトについて、本地区全体では約3%ですが。

戸部 女性会員の占めるパーセンテージがポイント

になると思います。女性会員は50%以下が良いと思います。

沼舘 私もそう思います。今の、29名中5名くらいがちょうど良いんですよ。と言うことは2割位でしょうね。

ガバナー 私の感じとしてはまず1割くらい、3,500名の会員でしたら、350名くらいぜひ女性会員に入会して欲しいですね。人数が多くなると男性会員の中でも派閥が出来てくるんですね。女性会員も皆さんが言われるように10名以上になると派閥みたいのが出来てくる。そして男性会員との対抗意識が出来てきますからね。インナーホイールの問題はインナーホイールはインナーホイールで活躍してもらおう一方、女性会員をどんどん入れてもらう、そして男性会員と一緒に奉仕活動をしてもらうことがこれからのあり方として良いと思います。

…海外では女性会員はたくさんいるのですか。

戸部 たくさんいるどころか、私は反対ですが女性だけのロータリーがあるんですね。フィリピンやメキシコにもあります。東京にもあるんですよ。

ガバナー 日本でこの間、25名女性だけでクラブが出来ましたね。

戸部 私はそれならソロプチミストやゾンタに入った方がいいですよ。

…ともかく、今のロータリーは女性会員問題にしても職業分類で1クラブ5名が入会できることなど、ロータリーのあり方や社会の認識が変わってきてきましたね。

戸部 私、まだ確かめていないんですが、ライオンズは主婦業を認めています、ロータリーは認めていないんです。

ガバナー 日本では主婦は職業でないんですね。1業種1人というのが基本精神でしたが1997年の規定審議会で1業種5人迄と言うことになりましたが、これはロータリーの大原則を覆したと思いましたが、これはロータリーの緩和が為に規制緩和とかどんどん緩和していった。ほとんどライオンズと変わらないような内容になってくるのはロータリー

の将来に悲劇なのかなと思います。

…会費についてはどうですか。

戸部 世界一高い会費ですね。私世界各国でメーキャップしてきていますが、日本が高いのは一流のホテルでないと駄目という気持ちがあるのかなと思います。食事代が高いからどうしても会費が高くなる。かといって、毎週例会開催のメンテナンスサービス、駐車場問題を考えると適当な会場を探すのは難しいと言えますが。

ガバナー 私も年会費とかロータリーにかかる経費というのは高いと思います。RIから一クラブまで官僚化されて、一流ホテルでなかったらロータリーの例会ではないと言う風潮が国際ロータリーに蔓延されていますが、もう少しロータリーの原点に戻って、会員の中で無料でやってくれるようなところを順番に回っていくとか、公民館を使うとか考える余地もありますね。会費を安くしてその分ニコニコボックスに回すとか。

戸部 私が会長の時にニコニコと別に、はまなすボックスというものをつくったんです。両方に分けて出してもらおうんです。

沼館 確かに、会費は高いと思います。でも、クラブ内の無駄を省く、例えばはまなすクラブに習って会報を自分たちでつくる事によって約80万円くらい節約しています。

…ともかく、地区、クラブの予算組み立ての考え方を変えなければと思います。当年度の予算は全部使い切ってしまうのではなく、委員会活動は3年間くらいの期間で予算を立てれば大きな活動が出来ると思います。これは役員の任期にも関係してくるのですが。いわば、ロータリーの制度改革ですね。

ガバナー そういう理解が大切ですね。私の年度からでもやれることからやっていきたいと思います。

…最後に何かありましたらどうぞ。

戸部 毎回ガバナーにお願いしてきたことですが、地区大会の時に女性会員だけの集まりをしてもらえないかなど。なぜならば、そういうお話し、いろいろなアイデアが出てくると思います。

…女性会員だけのフォーラムはどうですか。

ガバナー そうですね。さっそく遠藤ガバナー・エレクトに話をしておきます。会員出席もたくさん来るでしょうし、和やかになりますね。

…ところで、女性会員の存在は会員増強につながると思いますか。

戸部 香港、ロサンゼルスなどではつながると思います。けれども、日本ではどうでしょうか。

沼館 私は、女性会員がいるから入ってくるという問題ではないと思います。

ガバナー そうですね。私もそうと思いますが、できれば当地区において350名くらいの女性会員が入っていただきたいと思っています。小林直前ガバナーが立派な会員増強の案を出してくれています。やはり、会員増強というのは本当にクラブが一丸となってクラブに30人いれば30人の情報をクラブに提供していただいて、情報を基に討論していく、それはこういう形からアタックしていこうそして、最終的に貴方が適任だから担当してもらおうというようにクラブが熱意をもって増強していかないと、友人、知人を介して増強していこうと言うだけではなかなか難しいですね。

戸部 毎年、JCと1回交流で私達の例会にきてもらっているのですが、悔しいのですが100%みんなライオンズに入会してしまうんです。理由は、と聞くとJCでしたら若いじゃないですか、一生懸命働いている年代だからロータリーはいいけれども、毎週というのは厳しい、それからロータリーのイメージがすごく硬いみたいなんです。決して年会費が向こうが安いからいくのではないということが分かりました。

ガバナー そこは、JCの卒業生でライオンズに行く人達に、ロータリーはこういうところだよ、ロータリーは奉仕と親睦を基本にして自己修練の場ですとよく説明していくことですね。

…それがロータリーという人もいますが、確かにロータリーもいろいろ曲がり角にきているのは事実です。今日は大変お忙しい中、貴重なお話をしていただき有難う御座いました。

世界理解月間に寄せて



地区国際奉仕委員会

委員長 青木 功喜 (札幌東RC)

ロータリークラブ(RC)は世界の205カ国にでき、123万人になった。国別には米国と日本で全体の41%を占めている。世界のロータリアンの90%は全体の加盟国の10%の22カ国にすぎない。しかもこれら22カ国ではロータリアンが減少している。増強増強と念仏のように唱えても日本やアメリカは限界に来ている。入会するだけ退会しては会員は増えない。ロータリーの増強は世界的視野で考えた方がよい。今後は加盟国が各種のRIや財団プログラムの相互活用により、新しいロータリアンを掘り起こす必要がある。増える可能性を秘めた22カ国以外の加盟国のRCに手を貸す必要がある。我が国は増強や拡大を国際的ネットワークのもとに周辺のアジア諸異国に向けて発信すべきである。日本は色々なプログラムをアジアに軸足を変える時である。インドネシアには、9万人のロータリアンがいて世界で3番目である。我が国の出席率はここ20年間で10%減少し、メーキャップも多くなっている。マンネリ化し、ロータリアンの高齢化が目立ちはじめ、若い人の入会が年々減少している。

ロータリーの国際奉仕は最近教育プログラムから人道プログラムにその軸足が動いている。その方向は開発途上国に向いている。しかし我が国では教育

プログラムが圧倒的に多く、しかも自国中心に考えている。明治時代や第2次世界大戦以後の欧米への留学とは時代が変わって来ており対応の変化が必要になっている。ロータリーの交換学生はむしろ極力減らして良い時期に入っている。今では私費や多くの留学生制度の利用が出来る時代になっている。緒方さんが財団奨学生になった時代とは明らかに異なっている。その点からは米山奨学生制度は世界に誇れるプログラムである。今後あまり1国に片寄らず支援すべきである。

ロータリーは好むと好まざるに関わらず国際組織でありその情報は英語に頼っている。しかも日本からRI会長はまだ2人にすぎず、我が国の国際的地位が極めて低い。すなわち国際ロータリーは拡大化し、その運営の効率化が叫ばれその結果官僚化している。ロータリー情報は増加し、その伝達手段も多種になっている。言葉の上ではいまなおハンディを持っている日本はエバンストンの日本語課と東京の日本事務局の不調和は早急に解決すべきである。今後は若い人にチャンスを与え、ロータリーに新風を入れ、国際感覚のリーダーを育てる事が急務となっている。

家庭奉仕を考える

当地区ガバナー月信2004年1月号11頁で小林博D PGは家庭奉仕とロータリー家族を使い分けて行なう考え方は参考になりました。私自身も噛み合っていない感がありました。ロータリーの枠の中のロータリー家族ともっと幅広い家庭奉仕の2本立てという議論は分かりやすいと思いました。ロータリーの友12月号の記事を読んでもこの混乱が強く感じられます。この2つは重複しているので、ロータリーとして会員退会防止に留まらず、一般社会の家庭のあり方に

積極的にロータリアンが発言する場合には、ロータリー本来の職業人づくりの精神が根底にあるべきであると思う。ロータリーの家庭奉仕には何らかの独自の目的をおかないとロータリーが積極的に押し進め結果として、他の家庭奉仕と競合する事になるのは賢明でない。ロータリーは奉仕団体で無く、奉仕する職業人の集まりである。奉仕と言う実践を通して職業人の倫理観を深める事にある。実践の結果を最終目的にするNPOとは異なる。

ロータリアンの国別の会員数が大きく異なり、アメリカは20%、日本は2%にしか女性会員数がならないのはどうしてでしょうか。すなわちロータリー家族においても性別、人種、宗教、生活形態、年齢などにより異なっています。また従来の家庭の価値観がより多様性になり、画一的なものが消えつつあるのが現実です。

職業と家庭の関係の考え方も変化し、家庭を大事にしようと言う背景も画一的ではない。このような状態では家庭奉仕のとらえ方が混乱するのは当然で

ある。この問題は先進国では集団の問題というより個人の問題である。男と女では考え方に共通点は確かに増えているが基本的には異なる。家庭奉仕は社会奉仕の中にありますが、新世代の立場からも考えられます。RI会長は色々な哲学を持つ事は自由であり、問題点として考える事自体は良いが、それに応じてロータリーの組織を強制的に変える事がよいのかは議論した方がよい。ロータリーは上意下達の傾向が強すぎる。すくなくとも下意上達の道を閉ざすのであれば、家庭奉仕以前の問題となる。

地区青少年交換委員会報告 オーストラリア新受入れ学生来日と歓迎会

1月13日(火)、14日(水)オーストラリアからの新受入れ学生4名が長旅の疲れもまったく見せずフレッシュな笑顔で新千歳空港に到着した。受入れクラブ、

ホストファミリー、地元の高校関係者、教育委員会、そして、青少年交換委員等が、手作りの「WELCOME」の旗もよろしく、盛大に出迎えた。



Evan



Hugh



Alisa



Genma

(敬称略)

氏名	ホストRC	クラブ カウンセラー	新世代(国際奉 仕)委員長	地区カウンセラー
エヴァン・トーマス	由仁RC	大坂直人	大坂直人	荒木麻美子(余市RC)
ヒュー・ジェイムス	手稲RC	高崎英仁	高崎英仁	荒木麻美子(余市RC)
アリサ・ジェイン	札幌北RC	深浦信吾	高橋麗秋	馬場信吾(北広島RC)
ジェンマ・パチェット	新札幌RC	五十嵐勤	梅田鉄夫	上出利光(札幌西RC)

アリサは、来日前よりホストファミリーであり、次期派遣候補生の犬塚紗知さんとメール交換をしていたのですぐに打ち解け、真夏のオーストラリアからジャケット1枚でやってきたが、高橋麗秋国際奉仕委員長(札幌北RC)らの暖かい出迎えに終始笑顔で安心した様子であった。

エヴァンも、由仁の大坂新世代委員長はじめ、次

期派遣候補生の森長翔兵君、JET(Japan Exchange Teacher)のオーストラリア人の先生も来て下さり和気藹々とした雰囲気の中、由仁へと向かった。ヒューもジェンマも同様に、元気に到着した。そんな生活にも少しずつ慣れた1月31日(土)、札幌コンベンションセンターにて受入オリエンテーションと「歓迎会」が開催された。



佐藤ガバナーより、歓迎のお言葉を頂き、1年間「日本を学び、オーストラリアを広める」国際親善大使としての役割をしっかりと果たすことを誓い、固く手を握り合った。歓迎会には、在札幌オーストラ

リア領事、才色兼備の素敵なジョアンナ・ナーシーブレイさんも参加して下さり、オーストラリアから来た子供たちと片時もはなれず、5人で何か芸を披露しようと楽しそうに相談をしていた。



8月受入れのステイブン・ガートウルフ（函館東RC）、リンダ・ゴメス（上磯RC）、キャシー・ブコブスキー（函館五稜郭RC）、ケイ・グリーン（札幌東RC）はサルサを踊って歓迎の気持ちを精一杯表現し、日本での留学生生活を満喫している様子だった。また、ローテックスの蓬畑さん、大窪君、遠島さん等も留学で得たものを語ってくれたので、次期派遣生7名（4名欠席）もじっと耳を傾けていた。若者たちの笑顔がはじけた1日であった。次期派遣の野

村菜由さん（フィンランド、聖心女子大）は、同じ大学の友人2人と参加、そのうち一人は、先日来札した伊藤克己氏のアメリカ5100地区へ青森地区から留学をしたローテックスであった。ケイ・グリーン（アメリカ5100地区、聖心女子学院高）と、早速、メールを交換し友達の話を広げていた。一緒にいらしたご両親も（特にロータリアンのお父様）とてもうれしそうにしてらっしゃった。



中央が、野村菜由さん（派遣候補生）、お父様の野村昌人氏（江別RC）



高橋麗秋委員長（札幌北RC）と紗知さんとアリサ「よろしくお願ひします」



千歳に着いたエバンと由仁の大坂氏等



アリサを囲んで、ハイチーズ!!!

手作りの横断幕?が素晴らしい!



佐藤ガバナーからバッジを頂くリーダーシップ
一杯の15歳のヒュー君!



今日も元気に参加してくれたローテックス
(遠島、大窪、蓬畑3人衆)!!!

【歓迎会に出席した次期派遣の高校生達の輝かしい笑顔をご紹介します】 (8月出発)



野村 菜由 さん
(フィンランド)
(江別RC)



進藤紗也加 さん
(オーストラリア)
(手稲RC)



大塚 紗知 さん
(オーストラリア)
(札幌北RC)



杉下 樹里 さん
(オーストラリア)
(札幌モーニングRC)



杉本 光 さん
(オーストラリア)
(新札幌RC)



大場奈桜子 さん
(カナダ)
(上磯RC)



森長 翔兵 くん
(オーストラリア)
(由仁RC)

【これから、1年間どうぞよろしくお願ひします】

♡アリサと札幌北RC、教師、ホストファミリーの皆様



♣エバンと由仁RC、オーストラリア領事、ホストファミリーの皆様



◇ヒューと手稲RC、教師、ホストファミリーの皆様



♡ジェンマと新札幌RC、教師、ホストファミリーの皆様



佐藤ガバナー、奥貫新世代委員長、オーストラリア領事、上出委員と一緒に



最後に、奥貫地区新世代委員長が「私達大人は、留学生に友達作りの機会をできるだけ多くを与え、手助けをすることが役目です。1年間、ロータリー関係者、ホストファミリー、学校関係者、日本語の

先生、そして友達、多くの方々にお世話になることと思います。ロータリーの交換留学制度の良いところを十二分に発揮できるようにご協力をお願いいたします。」と、しめくくった。昨年度の帰国した留学生を見ると、さまざまな行事に参加し、積極的に話しかけ友達を多く作った子ほど早く日本にも日本語にもなじみ、ロータリー交換留学生として親善大使の役割を立派に果たし、満足した笑顔で日本を後にした。1年間、各地のロータリアンの皆様にもお世話になると思います。本当にど

うぞよろしくお願ひいたします。

【写真：菊池 恒 地区青少年交換委員、
文：荒木麻美子 青少年交換委員】

佐藤ガバナースリランカへ飛ぶ



米 山 道 男 (札幌北RC)

去る1月23日(金)から29日(木)まで、佐藤秀雄ガバナー(G)一行はスリランカを訪問した。メンバーは佐藤秀雄Gと宏子夫人、小林博パストガバナー(PG)、坂井治地区幹事、蘭越RCの志比川武さん、札幌北RCの伊藤知佳子さん、竹原巖さん、長太義雄さん、専門家として参加をお願いした株式会社ムトウの清水君人さん、私の10人。

今年度当初、佐藤Gは、スリランカ(1国1地区)のガミニGの要請に応じて、中古自転車を同国へ送ることを決めていた。既に中古自転車に加えてオルガンとピアノが同国の港まで着いていることが分かっていたので、その後の現地の状況を視察し、同時に同国ロータリアンとの友好を深めるために、同国訪問を思い立ったのである。

折りしも、小林PGは、中古内視鏡装置をムトウから譲り受け、札幌北RCに寄贈した上で、札幌北RCから同国コロomboRCへ寄贈する準備を進めていた。

このような事情からガバナー月信誌上でのガバナーの呼びかけに応じて集まったのが上記の面々である。

24日(土)午後1時20分成田を発ち、10時間後(時差は3時間)にバンダーラナーヤカ国際空港着。内視鏡装置の通関に手間取ったが、小林PGお得意の粘り腰で乗り切ることができた。空港には小林PG懇意の、半田祐二郎博士(JICA専門家)とダヤシリさん(寄贈品受入れ窓口役のコロンボRC会員)が迎えに来てくれていて、海沿いのコロombo市のコロombo・プラザ・ホテルへ。

25日(日)の午前中は、既に約1,000台に達してい

る我が地区寄贈中古ベッド等の使用状況の一端を視察するため、国立マハラガマ・ガンセンターと国立ホマガマ病院を訪問した。前者では、まだ廊下にゴザを敷いて寝ている患者もいたが、院内の居住環境は以前に比べて格段に改善されたとのことであった。後者には鳥取RC寄贈の内視鏡装置があったが、そばにいた看護師さんは使用法に習熟しているようには見えなかったので、清水さんが丁寧に指導した。



夜7時半、コロomboRCが歓迎会を開いて下さった。15名前後の人達が来ていて、席上、内視鏡一式の贈呈式が催された。城木札幌北RC会長からの贈呈目録が代読され、デ・シルバ・コロomboRC会長から感謝の楯が託された。今回持って行った内視鏡は南部のバラピティヤ基幹病院に、車椅子はコロomboのキャッスル病院に送られるとのこと。佐藤Gが北海道の絵葉書を、志比川さんが雪景色のカレンダーを贈り喜ばれた。

26日(月)朝、内陸部の古都キャンデイに向かい、夕方、マハウェリ・リーチ・ホテル着。同ホテルでのキャンデイRCによる歓迎会に臨む。7時半ころ

からゆっくり始まり、バナー交換もあり10時過ぎ閉会。



27日(火)午前中、ゴルフ組と分かれ、筆者ら5人は、ペラデニヤ大学(スリランカの最古にして最高の大学)歯学部(国内唯一の歯学部)のビジェイさん(キャンデイRC会員、パストガバナー)に大学を案内していただく。ビジェイさんは自分の所でも内視鏡がほしいと言っていた。

夜7時半から、キャンデイRCに対する答礼の宴を市内で開く。席上、スリランカ地区を代表してビジェイさんから、佐藤Gに中古自転車寄贈に対するお礼の楯が、また小林PG、竹原会員、太田すみ子会員(札幌北RC)に中古ベッド等医療器具寄贈への尽力に対する感謝状が贈られた。港に着いた中古自転車等は通関手続き中とのこと。9時、大阪大会での再開を約束して散会。



28日(水)朝7時半にホテル出発。昼、紅茶産地の高地ヌワラ・エリア着。由緒あるセント・アンドリュース・ホテルでヌワラ・エリアRCの皆さんと会食。そして、キャンデイからわざわざ車で私達を追いかけて来た2人のキャンデイRC会員も同席して、記念品を手渡して下さった。感激。後は、一路空港へ。午後9時半、帰国の途に。

29日(木)午前11時、無事に成田到着。羽田経由で午後4時千歳着、そこで訪問団は解散。

暑さもこたえたい慌ただしい旅で疲れたが、スリランカの人達の優しさに触れ、現地ロータリアン達と友情を結ぶことができたのは、実に素晴らしい体験だった。10人それぞれの中で、スリランカ病は、程度の差はあれ確実に進行したものと思われる。

第24回札幌スキーマラソン参加



2月8日(日)第24回札幌スキーマラソンが開催され、交換留学生、米山奨学生、国際親善奨学生、インターアクター、ロータリアン、合計51名が5kmコースに挑戦しました。薄曇り気温マイナス5度とスキーマラソンには絶好のコンディションで、歩くスキーを初めて経験するメンバーはスタート地点までスキーで移動するのも一苦労でしたが、スタートしてからはみんなが声を掛け合って全員が無事完走し、いい汗をかきました。

佐藤秀雄ガバナーを始め応援団も駆けつけて盛大な応援を繰り広げ参加者一同大いに励まされました。

奥貫一之新世代委員長はなんと第1回大会から参加され今年で連続24回目の参加、来年の25回目指してトレーニングに励むと抱負を語っていらっしゃいました。

全員完走の後は恒例のジンギスカン・パーティーで、新世代諸君の走った後のエネルギー補強の食事は見事なもので次代を担う新世代のたくましさの一端を垣間見せました。

また、1月に来日したばかりのオーストラリア交

地区ライラ委員会

委員長 宮崎 善昭 (札幌西RC)

換留学生も新しい新世代の仲間と交流を深めることができました。

ライラセミナーと合わせ日頃交流の少ないロータリー関係の新世代が集い、意見や友情を交換する横の関係を結ぶとともに、一般の新世代の人々と交流する機会として今後も活動を継続していきたいと考えています。

当日裏方でご奉仕いただいた、ライラ委員、青少年交換委員、インターアクト委員、米山奨学生委員の皆様には感謝申し上げます。



江別西RC「2004えべつスノーフェスティバル&マシュマロンピック」の参加報告

冬の日の一日「雪を友達に」のテーマに、毎年開かれている「2004えべつスノーフェスティバル&マシュマロンピック」が今年も2月7日～8日の両日開催されました。

江別の街中、公園、そして家々の前を雪像とアイスキャンドルで飾ろうという催しです。

江別西ロータリークラブも例年、メイン会場にて、その年のテーマを決め、会員全員一週間程、雪像造

りに汗を流しました。

今年は、「スノーマンと仲間たち」を制作しました。

毎日夕方6時頃から寒い中、汗を流しながら造った雪像に、少し満足しました。

当日は1万人以上の親子が参加し、楽しい一日を過ごしました。

(文：後藤 一昭 社会奉仕委員長)



祝 新入会員のご紹介

長沼RC



佐々木信雄 会員
平成15年8月25日入会

長沼RC



田嶋 俊美 会員
平成15年11月5日入会

長沼RC



池田 徳重 会員
2月9日入会

羽幌RC



高澤 國雄 会員
1月1日入会

千歳RC



村上 倫行 会員
1月8日入会

千歳セントラルRC



松倉 仁 会員
1月13日入会

ロータリー財団へのご協力に感謝申し上げます

マルチプル・ポール・ハリス・フェロー

芦別 R C	坂田 憲正	会員	1月23日
滝川 R C	篠島 弘	会員	1月9日 (2回目)
	向井 辰巳	会員	1月9日
江別 R C	山崎 一夫	会員	1月14日 (2回目)
	加藤 正勝	会員	1月14日 (2回目)
札幌東 R C	赤倉 正人	会員	1月30日
浦河 R C	大山 勝美	会員	1月14日

ポール・ハリス・フェロー

滝川 R C	鈴木 英也	会員	1月9日
江別 R C	藤原 敏雄	会員	1月14日
	奥野 一嘉	会員	1月14日
	野村 昌人	会員	1月14日
	山本 幸子	会員	1月14日
	女屋 龍紘	会員	1月14日
	平賀 俊尚	会員	1月14日
札幌南 R C	前田 恒雄	会員	2001年12月12日 (表彰漏れ)
新札幌 R C	佐野 文男	会員	1月30日
静内 R C	水野 忠志	会員	1月23日
	山口 俊秀	会員	1月30日
浦河 R C	高杉 保廣	会員	1月14日
苫小牧東 R C	高井 昌機	会員	1月14日
	佐藤 正孝	会員	1月14日
	佐藤 正	会員	1月14日
	田仲 勉	会員	1月14日

米山記念奨学会へのご協力に感謝申し上げます

米山功労者

札幌東 R C	朝倉 正人	会員	1月26日	第1回
	村山 富夫	会員	1月26日	第2回 (マルチプル)
函館亀田 R C	江端 章	会員	1月7日	第1回

米山功労法人

丸福塗料株式会社 (札幌手稲 R C)	1月26日	第1回
---------------------	-------	-----

(財)ロータリー米山記念奨学会ニュース

【ハイライトよねやま 48】

2004年2月10日発行

1. 寄付金速報 ～下半期の寄付状況

1月までの寄付金は、前年同期と比べ6.0%減、約7千万円の減少でした。普通寄付金が2.3%減、特別寄付金が8.1%減です。寄付は依然として厳しい状況ですが、寄付の減少をくい止めているのは、ロータリアン皆様のご努力の賜です。米山奨学会事務局も皆様に役立つ情報提供に努めてまいりますので、ユニークな寄付集めのアイデアなどございましたら、ぜひお寄せ下さい。一層のご支援をよろしくお願い申し上げます。

2. 第2期基礎調査タスクフォース委員会開催報告
～みんなで考える米山奨学事業へ～

1月23日(金)に、第2期基礎調査(※)タスクフォースの第2回委員会が開催されました。昨年、1,000人規模のロータリアンを対象に行ったアンケート調査の結果を分析した上で、さまざまな意見交換がなされました。今回の調査結果から、ロータリアンが重視する米山奨学事業の目的や、奨学生に求める「優秀性」の中身が、より具体的に明らかとなりました。また、記述式回答では、日本人学生への支援や、奨学生採用における地区裁量枠の新設など、新しい意見も登場しています。3月2日の次回委員会では、元奨学生を対象とした調査結果について、分析・協議を進める予定です。

(※) 第2期基礎調査：米山奨学事業中期計画策定のための調査。調査結果は、次年度1年間をかけて各地区で協議され、2006年度の制度改編に反映される。

3. 今月の“よねやまだより”は、『世界に飛躍する米山学友』

ロータリーの友2月号の“よねやまだより”では、世界理解月間にちなんで、世界各地で活躍中の5人の米山学友を紹介しています。米山奨学事業50年の成果を示すほんの一部の例ですが、彼らが日本留学で培った経験が、今日どのように生かされているか、ぜひご一読ください。

そのほかにも、同誌では、昨年のロータリー日韓親善会議で大きな感動を呼んだ、韓国出身の米山学友 Hwang Saemee (ファン・セミ) さん(2001-02年度奨学生/国際基督教大学大学院/東京南RC)のスピーチ『矛盾から希望へ』も、世界理解月間の特集の一つとして紹介されています。

4. 「トラブルに巻き込まれないために」

米山奨学会ホームページに掲載

米山奨学会では、昨年末から「米山奨学生へのお知らせ」として、SARSに関する情報と、留学生のトラブルを防ぐ注意事項をホームページに掲載して、奨学生に注意を呼びかけています。特に最近では、留学生を含めて外国人への取り締まりが強化され、日本人であれば全くとがめられないことでも、外国人については強制送還の理由とされるケースがあります。「トラブルに巻き込まれないために」は、(財)アジア学生文化協会・留学生相談室の許可を得て、同財団のホームページから、分かりやすい解説とともに、具体的な注意点を転載しています。米山奨学生が無用のトラブルに巻き込まれないよう、各地区・各クラブの奨学生ご担当者様からも、ぜひご指導くださいますようお願いいたします。

(<http://www.rotary-yoneyama.or.jp/news/notice/trouble.html>)

5. イラン大地震の人道支援に米山学友が協力

昨年12月26日にイラン南東部で発生した大地震は、死者数41,000人を超える未曾有の大惨事となりました。イラン出身で、東京工業大学博士課程に在学中の米山学友、アレズ・ファクレジャハニさん(1997-99年度奨学生/東京工業大学大学院/東京日本橋東RC)は、「少しでも被災者の助けになりたい」と、イラン最大のイマーム・ホメイニ病院の救急センター長と連絡を取りあい、日本から緊急医療物資を送る支援活動を立ち上げまし

た。

大阪外国語大学ペルシャ語学科の全面的な協力を得て、ホームページ(<http://www.osaka-gaidai.ac.jp/~mes/persian/JISHIN.HTML>)で呼びかけたところ、年末年始にもかかわらず、多くの大学、病院、企業、官公庁などから賛同が集まり、脊髄損傷患者用のエアーマットや大量の医薬品などを現地に届けることができたとのこと。

今後は長期的な支援に移行する必要性から、活動を引き継げるボランティア団体を探しているとのこと。

6. 米山奨学会学友会（関東）初代会長の

E.A.チョウドリ氏、逝く

～母国バングラデシュの教育振興に力を尽くす～

国内最初の米山奨学会学友会、関東学友会（現東京学友会）の初代会長を務めたバングラデシュ出身の米山学友、イスカンダール・アメッド・チョウドリ氏（1970-72年度奨学生／東京外国語大学

／東京銀座RC）が、1月29日、バングラデシュにて永眠されました。享年71歳でした。

チョウドリ氏は、母国の教育振興に強い使命感と情熱をもち、故郷のベタギ村の学校再建に尽力しました。国際ロータリー第2770地区の多大なる支援を得て再建された学校は、ロータリー・ベタギ・ユニオン・ハイスクールと改名されて、現在も地域の教育の場として重要な役割を果たしています。次なる段階として、チョウドリ氏は、職業訓練校の設立にも着手していましたが、心臓病のため、道半ばで急逝されました。

チョウドリ氏のご冥福をお祈りいたします。

財団法人ロータリー米山記念奨学会

Tel：03-3434-8681 Fax：03-3578-8281

問い合わせメール：

highlight@rotary-yoneyama.or.jp

米山記念奨学会ホームページ：

<http://www.rotary-yoneyama.or.jp>

文庫通信(197号)

新会員のためのロータリー情報について(新着本から)

- ◎ 「ロータリークラブについて（新入会員のための手引き）」
豊田東R.C. 2003 24p [申込先：ロータリー文庫（コピー）]
- ◎ 「ロータリー情報マニュアル（ロータリアン必携）」 D.2650 2003 44p
[申込先：淵上勝夫 FAX (0779) 87-2560]
- ◎ 「会員のしおり」 荒尾R.C. 2003 106p [申込先：荒尾R.C. FAX (0968) 66-3723]
- ◎ 「ロータリー学入門—クラブ奉仕・職業奉仕・社会奉仕—」
深川純一・田中毅 D.2680 2003 89p [申込先：D.2680 FAX (078) 334-2681]
- ◎ 「純ちゃんのコーナー（ロータリー3分間情報）Part II」
深川純一 伊丹R.C. 2003 28p [申込先：伊丹R.C. FAX (072) 775-1223]
- ◎ 「私のロータリー50年」 黒澤張三 2003 41p [申込先：ロータリー文庫]
- ◎ 「ロータリー随記」 真鍋欣良 2002 161p [申込先：呉R.C. FAX (0823) 21-5692]
- ◎ 「慈愛の種を播く」 小林 博 2003 118p
[申込先：札幌がんセミナー FAX (011) 222-1526]
- ◎ 「渾沌—活力再生の道—」 佐藤千壽 D.2580 2003 83p
[申込先：D.2580 FAX (03) 3538-0212]

ロータリー文庫

〒105-0011 東京都港区芝公園2-6-3 abc会館7F

TEL(03)3433-6456 FAX(03)3459-7506 <http://www.rotary-bunko.gr.jp>

開館＝午前10時～午後5時 休館＝土・日・祝祭日

『友』インターネット速報

2004年大阪（関西）国際大会の記念切手が発行決定

RI国際大会の公式記念切手は、2000年ブエノスアイレス国際大会以来4年ぶりです。国際大会の開催は5月23日ですが、記念切手の発行は、2日前の5月21日です。切手は近畿版で、近畿圏内の全郵便局と全国の主要郵便局で販売されます。また、国際大会会場でも販売される予定です。

詳細は、決まり次第、『ロータリーの友』本誌ならびに『友』ホームページでご案内いたします。

(2004年1月27日 No.121)

米国ワシントンD.C.に、

“エクストラマイル” ボランティア歩道

(The Extra Mile Volunteer Pathway) という、70人以上の米国の偉大なボランティアをたたえた国家的記念碑が設置されることになりました。

ポール・ハリスもその中の一人です。この歩道には、榮譽を受けた人の肖像、功績などが記されたブロンズ製メダリオン（円形浮き彫り）が埋め込まれます。開設式は、2004年半ばの予定です。

国際ロータリー（RI）理事会は、ポール・ハリスのメダリオンの製作を推進するプロジェクトを承認。費用に充てる募金活動が現在進行中です。詳細は、『友』ホームページwww.rotary-no-tomo.jpをご覧ください。

(2004年2月3日No.122)


税制上の優遇措置について

2003-04年度は皆さまのご協力で大勢の方が大口寄付をして下さいました。お蔭様で一括30万円以上の税制上の枠をすべて使いきってしまいました。誠に恐縮ですが、これから30万円以上の一括寄付をして、税制上の優遇措

置を得ようと計画している方がおりましたら、本年7月1日以降にお願いします。

皆さまの惜しめない寄付に感謝申し上げます。

日本事務局財団室 片岡 暎子



*** 掲示板 ***

・例会変更のご案内

★赤平RC	3月2日(火)	10:30 移動例会(雛祭り老人施設慰問)
	3月15日(月)	3クラブ交流会 18:00～ 場所:みらい
★室蘭東RC	3月23日(火)	室蘭北RCとの合同夜間例会
		18:00～ 場所:ホテルサンルート
	3月24日(水)	振替休会
	3月31日(水)	休会(定款第5条第1節による)
★苫小牧東RC	3月5日(金)	夜間例会 18:00～20:00
	3月11日(木)	夜間例会 18:00～
		「マージャン大会」
		場所:グランドホテルニュー王子
★苫小牧北RC	3月23日(火)	夜間例会 18:00～
		「クラブフォーラム」
		場所:グランドホテルニュー王子
	3月30日(火)	休会(定款第5条1節による)

・地区組織図の変更について

地区オン・ツー・大阪委員会委員の村上正治会員(千歳RC)、地区青少年交換委員会委員の渡辺哲則会員(札幌手稲RC)が退会されましたので、地区組織図及び地区名簿のご訂正をお願い致します。

・メールアドレスの変更について

北広島RCのメールアドレスがプロバイダの変更に伴い、kitahiroshima_rc@yahoo.co.jpに変更となりましたので地区名簿のご訂正をお願い致します。

1月会員数・出席率

グループ	クラブ名	例 会 数	会 員 数				出席率
			03.7.1	04.1.31	増減	内女性	
1	深川	4	43	42	-1	2	81.54
	羽幌	4	47	47	0	1	74.79
	妹背牛	4	10	10	0	0	92.50
	小平	4	16	16	0	0	71.87
	留萌	4	64	63	-1	0	91.32
	小計		180	178	-2	3	82.40
2	赤平	3	35	36	1	2	89.67
	芦別	4	58	55	-3	0	89.91
	砂川	4	55	55	0	0	97.17
	滝川	4	109	109	0	2	75.00
小計		257	255	-2	4	87.94	
3	美幌	4	47	44	-3	0	88.48
	江別	4	46	46	0	1	88.06
	江別西	4	40	38	-2	3	90.13
	岩見沢	4	100	99	-1	0	92.19
	岩見沢東	3	34	36	2	3	92.93
	栗沢	4	33	31	-2	2	94.35
	栗山	4	32	32	0	2	96.49
	当別	4	42	39	-3	0	83.97
	小計		374	365	-9	11	90.83
4	札幌	3	113	128	15	0	96.69
	札幌あけぼの	4	18	17	-1	1	100.00
	札幌はまなす	3	30	29	-1	5	73.81
	札幌北	3	54	55	1	5	90.91
	札幌モーニング	4	60	62	2	0	72.13
	札幌西	4	74	76	2	2	93.07
	札幌西北	3	50	49	-1	2	93.30
	札幌手稲	4	44	42	-2	1	100.00
	小計		443	458	15	16	89.99
5	札幌東	4	118	126	8	0	99.15
	札幌清田	4	29	28	-1	5	100.00
	札幌幌南	4	81	75	-6	0	100.00
	札幌真駒内	4	46	45	-1	2	94.58
	札幌南	2	90	96	6	0	98.26
	札幌大通公園	3	19	19	0	4	80.69
	札幌セントラル	4	19	19	0	6	83.70
	新札幌	4	36	36	0	1	90.15
	小計		438	444	6	18	93.32
6	岩内	4	35	36	1	0	71.67
	倶知安	3	57	57	0	4	85.24
	小樽	4	88	84	-4	0	82.82
	小樽南	4	86	85	-1	0	88.70
	小樽銭函	4	22	22	0	3	79.55
	蘭越	4	15	15	0	0	73.33
	余市	3	46	46	0	4	81.30
	小計		349	345	-4	11	80.37

クラブ数	72クラブ
期首会員数	3,304人
当月末会員数(女性)	3,318人(97人)
増加会員数	14人
当月平均出席率	84.59%

グループ	クラブ名	例 会 数	会 員 数				出席率
			03.7.1	04.1.31	増減	内女性	
7	千歳	4	72	71	-1	2	84.10
	千歳セントラル	4	31	30	-1	0	78.30
	恵庭	4	50	50	0	0	77.70
	北広島	3	15	18	3	2	96.07
	長沼	2	17	19	2	4	80.50
	由仁	4	16	16	0	0	95.31
小計		201	204	3	8	85.33	
8	えりも	4	23	25	2	0	89.00
	三石	2	18	18	0	1	94.40
	様似	3	20	19	-1	2	70.50
	静内	4	68	70	2	0	80.14
	浦河	3	42	42	0	1	78.57
	小計		171	174	3	4	82.52
9	伊達	4	55	58	3	0	78.06
	室蘭	4	56	54	-2	0	77.83
	室蘭東	4	48	47	-1	0	88.22
	室蘭北	3	39	38	-1	2	73.32
	登別	4	39	42	3	2	82.93
	洞爺湖	4	12	11	-1	0	84.10
	小計		249	250	1	4	80.74
	函館	4	101	104	3	0	79.71
10	函館亀田	3	47	47	0	1	80.14
	森	4	48	48	0	0	78.00
	七飯	4	29	30	1	0	68.00
	長万部	3	12	13	1	0	84.60
	小計		237	242	5	1	78.09
11	江差	4	21	18	-3	0	75.00
	函館五稜郭	4	64	71	7	0	89.66
	函館東	4	60	58	-2	6	75.93
	函館北	4	43	39	-4	0	80.41
	上磯	3	33	33	0	3	51.00
	松前	4	9	9	0	1	66.67
小計		230	228	-2	10	73.11	
12	白老	3	32	33	1	2	78.00
	苫小牧	4	61	62	1	0	75.54
	苫小牧東	4	33	33	0	3	83.34
	苫小牧北	4	49	47	-2	2	96.25
	小計		175	175	0	7	83.28
合計		3,304	3,318	14	97	84.59	

地区カレンダー（3月・4月）

3 月	
1(月)	
2(火)	
3(水)	
4(木)	
5(金)	
6(土)	
7(日)	
8(月)	
9(火)	
10(水)	
11(木)	
12(金)	
13(土)	R 財団セミナー・米山セミナー（登別グランドホテル）
14(日)	会長エレクト研修セミナー（登別グランドホテル）
15(月)	
16(火)	
17(水)	
18(木)	
19(金)	
20(土)	春分の日 森 R C 創立40周年記念式典
21(日)	
22(月)	
23(火)	
24(水)	地区 G S E チーム帰国
25(木)	
26(金)	
27(土)	
28(日)	
29(月)	
30(火)	
31(水)	

4 月	
1(木)	
2(金)	
3(土)	
4(日)	
5(月)	
6(火)	
7(水)	
8(木)	
9(金)	
10(土)	
11(日)	
12(月)	
13(火)	
14(水)	
15(木)	
16(金)	
17(土)	地区協議会（室蘭市民会館）
18(日)	
19(月)	
20(火)	財団国際親善奨学生募集締切り
21(水)	
22(木)	
23(金)	
24(土)	
25(日)	
26(月)	
27(火)	
28(水)	
29(木)	みどりの日
30(金)	